

## 北海道循環型社会形成推進基本計画

## 〔計画の策定の視点〕

## 将来像の視点

自然と共生する

自然環境の保全と適正な利用、森林・農地・水辺等の多面的機能の維持増進、生物多様性の確保

健全な物質循環を確保する

人間の活動による環境への負荷が環境の容量を超えることのないよう健全な物質循環の確保

持続可能な生活を目指す

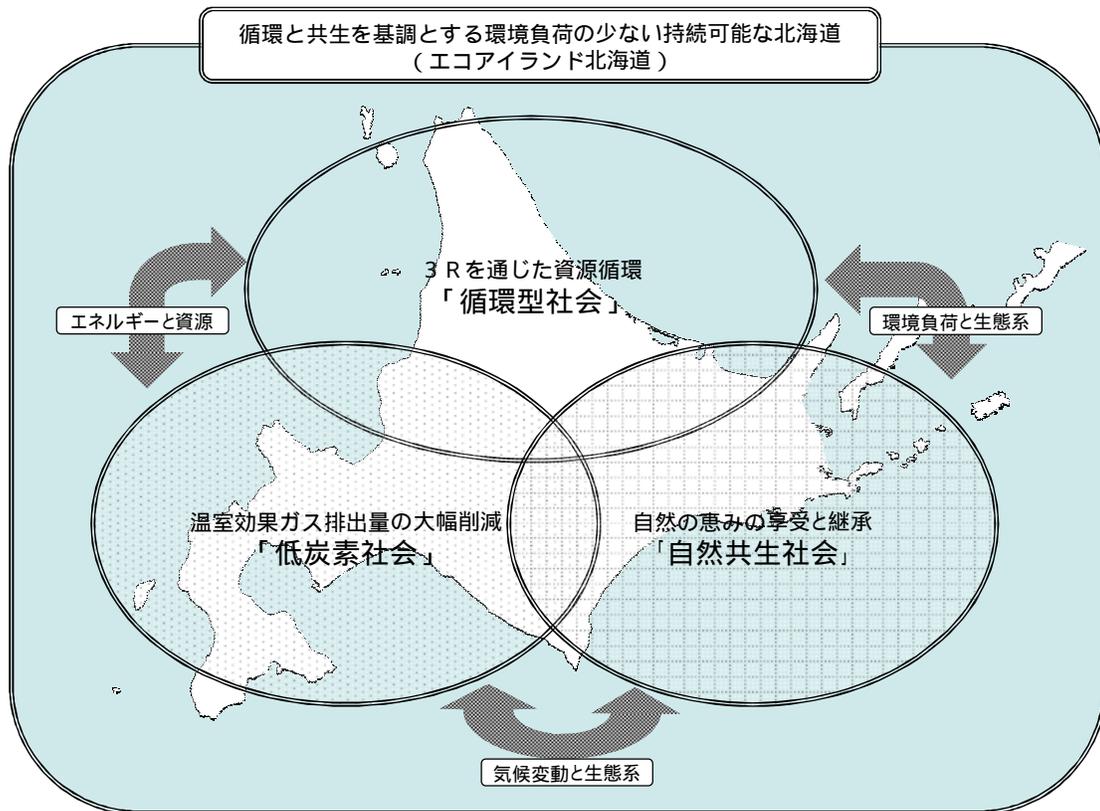
ライフスタイルを環境への負荷の少ないものに変えつつ、心の豊かさが感じられる質の高い生活

環境に配慮した地域づくりを進める

地域における各主体が相互に連携して、地域特性を踏まえた持続可能な地域づくりに参画

環境と経済の良好な関係をつくる

環境への配慮を経済発展の原動力とし、環境と経済の間に好循環を生み出す



## 地域循環圏の考え方を踏まえた取組

低炭素社会に向けた取組との統合（エネルギーと資源）

- ・ 廃棄物等を活用したエネルギー利用の推進
- ・ バイオマスの利活用（バイオガスなど再生可能エネルギー\*化）
- ・ 環境への負荷の少ない静脈物流\*システム

自然共生社会に向けた取組との統合（環境負荷と生態系）

- ・ 天然資源投入量の抑制
- ・ バイオマスの利活用（肥料化・飼料化など）
- ・ 環境保全型農林水産業の推進